

温井里山活性化事業

取組に至る背景・事業の目的

なべくら高原を訪れる観光客の増加を受けて、農産物直売所の設置により地元生産者が新鮮野菜を販売できる場を提供するとともに、地域の見所マップを作成し、情報提供することにより、農村と都市との交流、高齢化が進む温井集落の活性化を図る。

事業内容

村の大工を中心に、区民が協力して農産物直売所の建て替えを行うとともに、区民が総出で農産物直売所周辺と、地区の道路（みゆき野ライン）の花植えと管理を実施した。

また、地区の新鮮な野菜を直売することで、生産者と消費者の交流が生まれ、地元の高校の協力により特産品としてコケ玉「森彦」を開発、販売するとともに、温井見所マップを制作し、直売所と温井地区の魅力を発信している。



【直売所オープン】

事業効果

直売所の設置により、出荷者及び出荷品目が増え、来店者数は1,800人にのぼり、売上額も対前年比33%増となった。リピーターの増加により、消費者のニーズが生産者の意欲を向上させている。

また、コケ玉づくりに取組むものが中心となって、地区に残る伝統の冬の手仕事を、特産品として復活させようとする動きも出てきている。

生産者と消費者とが顔を合わせることで、生産者としての喜びが実感でき、直売所を拠点とした今後の地区の農業経営を考えようとする若者も出てきている。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

直売所が生産者と消費者の交流拠点として自立できるよう多方面から研究に取り組むとともに、地区の特産品であるブナ玉「森彦」を全国に届けられるよう作り手を増やして、各方面との連携を大切にしながら事業展開していく。

【選定のポイント】

直売所の設置を契機として生産者のやる気を引き出すとともに、新たな特産品を開発して意欲的に地域活性化に向けて取組んでいる。

団体名	温井むらづくり委員会（飯山市）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	村山由美子	事業費	2,544,437円
	電話 0269-69-2773	支援金額	1,756,000円